

12月1日は『世界エイズデー』です

令和5年度世界エイズデーキャンペーンテーマ

「**あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPDATE HIV!**」

「世界エイズデー “World AIDS Day”」は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。



**世界エイズデーにあわせたキャンペーン
を実施します!**

場所: J:COM ホルトホール大分 1階エントランスホール

期間: 11月22日(水)正午~12月6日(水)15時



レッドリボンは、
あなたがエイズに関して偏見をもっていない、
エイズとともに生きる人々を差別しない
というメッセージです

このレッドリボンの意味を知り、
レッドリボンを身に付けることによって、
エイズについて考えるきっかけにして
いただけたら、幸いです



エイズについて正しい知識をもちましょう！

HIV感染者≠エイズ患者

HIV感染者はHIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染した人のことです。

エイズ(後天性免疫不全症候群)患者は、HIVによって体の免疫力が低下し、普段は感染しない病原体にも感染しやすくなり、様々な病気を発症した人のことをさします。

近年は治療が進歩しており、HIVの感染に気づき、早めに治療を継続することで、エイズの発症を防ぐことができるようになってきました。

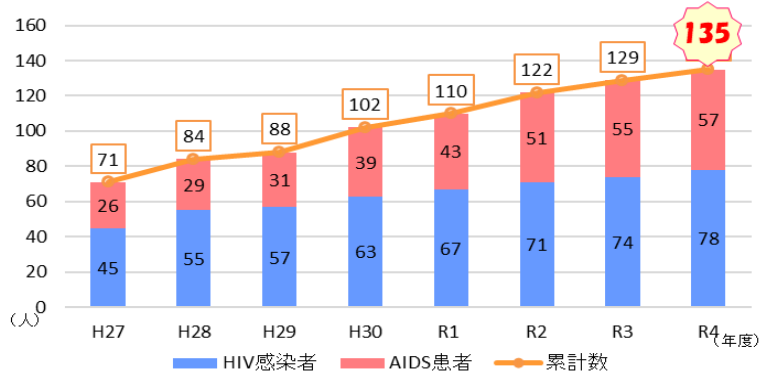
日常生活では感染しない！

こんなこと、こんな場所では感染しません。

- 握手・軽いキス
- 洋式トイレの便座
- せき、くしゃみ、汗、涙
- お風呂やプール
- つり革や手すり
- 同じ皿から料理を食べる・回し飲み
- 日本の医療機関・理髪店・美容院

※ただし、血液が付きやすい歯ブラシ・カミソリなどは自分のものを使いましょう。

大分県内のHIV感染者／エイズ患者数の推移



どのくらい増えているの？

- 日本では現在1日に2.4人が、新たにHIV(エイズ)に感染
- 感染経路は、性的接触が8割以上
- HIV感染者とエイズ患者の累計数
全国：約3万4千人、大分県：135人
(令和4年末時点)
- 自分のHIV感染を知らずに、エイズを発症した人の割合
全国：約3割、大分県：約4割

HIV(エイズ)検査は保健所で受けられます

保健所のHIV検査は、**無料・匿名・予約制**です。

感染後、抗体が検出されるまでに、個人差はありますが、感染機会から3カ月が経過すると、正しい検査結果が得られます。

結果は本人のみに伝えられますので、お気軽にご相談ください。

大分市保健所 エイズ専用電話

☎097-537-8190

9:00~17:00(月~金※祝日を除く)

詳しくは
大分市ホーム
ページへ

